

26

国境なき医師団・貫戸朋子

国境なき医師団は、紛争や貧困、自然災害などで生命の危機に直面している人々に医療・人道援助活動を行う団体です。貫戸朋子さんは医師として参加し、紛争が続いていたボスニア・ヘルツェゴビナに派遣されました。ある時、貫戸さんはもう助からない五歳の男の子に与えていた酸素ボンベを切ろうかどうか迷います。





かんとともこ

貫戸朋子さんってどんな人？

小さい頃からスポーツ好き。
特にサッカーが得意だったが、クラブには男子しか入れず、それがとても理不尽だと思った。

1993年、スリランカの難民キャンプに派遣され、6か月間医療活動にあたる。

医大を卒業した後、京都で産婦人科医として勤務。その後スイスへの留学を経て「国境なき医師団」の一員になる。

他人を変えようと思わないこと。
しかし理解しようとすることは必要です。

